

日野町の資源を活かした

第2次きらり日野町創生戦略を

着実に進めて参ります

日野町長

新年あけましておめでと

うございます。町民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、町政へのご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

令和2年度から5年間のまちづくりの目標を定めた第2次きらり日野町創生戦略も3年目となり、戦略の点検・検証を重ね、まちが持続していくために皆さまとともに、着実に進めて参ります。

▼ワクチン接種2月中旬から

新型コロナウイルス感染症との戦いは、ワクチン接種が進んだものの、第6波のオミクロン株の脅威。2月中旬から、日野病院の全面協力をいただき、3回目

の接種を予定しています。

日程等は後日詳しくお知らせします。

▼日野高校の魅力・情報発信

去年は、東京オリンピック、パラリンピックが開催され、鳥取県から多くの選手が出場。地元日野高校出身の山口遥さんが出場され、県民・町民挙げて応援しました。

歴史・魅力ある日野高校の情報発信により、入学志願者も県内外ともに増加。まなびや縁側の開設、ふるさと教育の推進は、将来の日野郡を担う人材の育成を目指し、関係・交流人口へとつながるものと期待しています。

▼小中一貫の義務教育学校

令和5年度施設一体型の義務教育学校（小学校から

中学校までの9年間の義務

教育を一貫して行う新しい学校）の開校に向け、根雨小の大規模改修と増築工事を実施します。

夢のある魅力的な地域の学校を目指し、住んでみたくなるまちの情報発信で、若者、子育て世代等の移住定住も期待するところです。

黒坂小・日野中の跡地利用は、現在跡地利用検討委員会、ご意見をまとめていただいています。具体的な活用方法等は今後検討を進めて参ります。

▼子育てや地域医療

かつて経験したことのない少子高齢化・人口減少は、もはや避けて通れません。各種施策をもって勢いを食い止めるしかありません。

出産や子どもの育成段階に

応じた経済的支援、保育料無償化や病児・病後児保育など、安心して子どもを産み、育てる環境を充実させて参ります。健康で安心・安全な暮らしを守るため、

鳥取大学、日野病院、日翔会を中心とする地域包括システムの推進、日野郡内の医療機関連携による効率的な医療の確保、介護予防の効果の高いいきいき・かみかみ百歳体操、フレイル評価システムの普及など、健康寿命の延伸に向け支援策を講じていきます。

▼集落機能の維持・移住・定住

自分たちの集落の課題について、まずは集まってみんなで話し合ってみましょう。

そうした活動の支援を目的

に地域活動支援交付金制度も3年目となり、この間、自治会では自助・共助のお話

から、町社会福祉協議会、ひの防災福祉センターの職員と連携し、支え愛マップの作成も進んでいます。Uターン・Iターンなどのお話もちらほら聞かえてきます。集落がしっかり機能し持続していくため自助・共助・公助のバランスを考慮し具体的支援策に取り組みます。

▼公共交通の充実・買い物支援

令和3年4月からスタートした県内初の町営タクシーの運行により、交通弱者をはじめ、利便性は格段

2021年まちのできごと

▼昨年のもちの動きを「広報ひの」の記事から振り返ります

【1月】 1日=金持神社初もうで。7日=安泰ニットが使い捨て防護服寄贈。31日=日野川で空手寒げいこ。

【2月】 4日=ネッツトヨタ鳥取が足踏み式消毒スタンドを寄贈。6日=菅福地区伝統奇習行事「ホトホト」。9日=根雨郵便局でマチオモイカレンダー原画展。

【3月】 12日、14日=和服で日野町ツアー。15日=生田清子さん(黒坂)に県西部地区町村社会教育協議会長表彰。23日=ふるさと大賞2020、地域貢献賞におしゃべりカフェ、スポーツ功労賞に山本貴大さん(野田)が受賞。

【4月】 1日=日野町営タクシー出発式。「日野町未来づくり事業協同組合」辞令交付式。9日=上田商事が町へ軽自動車を寄贈。23日=奥ひの青パイヤ研究会設立総会。24日=鶴の池公園キャンプ場リニューアルオープン。

【5月】 新型コロナウイルスワクチン集団接種開始。21日=根雨小学校グラウンドで東京2020オリンピック聖火リレー。23日=「葬仙金持テラスひのホール」オープン。26日=奥ひの青パイヤ定植セレモニー。

【6月】 11日=ホテル観察会&ナイトウォーク。19日=自然観察会「ハッチョウトンボを探しに行こう!」。

【7月】 1日=「ムラづくりカフェすげふく」がオープン。8日=町と株式会社吉田ふるさと村との連携協定締結式。9日=日野高校創立20周年記念式典・日野高校同窓会創立100周年記念式典。22日=鶴の池公園キャンプ場で星空朗読会。29日=ひのっこ保育所でアユつかみ取り。

【8月】 12日=くろさか盆市。14日~15日=黒坂鏡山城址ライトアップ。

【9月】 9日~11日=たたら製鉄福長下モノ原遺跡見学会。

【10月】 2日=オノ原たたら跡発掘調査見学会。3日=全町一斉防災訓練。9日=日野町駅伝競走大会。23日~24日=生きいき”ひの”ふれあいまつり、令和のふいご祭。26日=青パイヤ収穫セレモニー。29日=町と町内の郵便局が災害発生時に関する協定を締結。

【11月】 21日=金持テラスひのに「もう言葉がでません」「ドコモ ケータイ相談コーナー」が新規オープン、「まめなか屋」移転・拡充。28日=日野町表彰式、山本乙葉さん(野田)が受賞。

【12月】 10日=セルプひのが日野中学校3年生に絵馬を寄贈。16日=日野高校出身中口遥さん一日警察署長。

に向上しました。その反面、町営バスは朝晩の運行に変更となり、不便との声もあります。町議会から提案書もいただくなど、公共交通のあり方、料金体系等、皆さまのご要望を検討して参ります。また、町営バスによる貨客混載事業により金持テラスひの「まめなか屋」には町内産の新鮮な野菜等が並び、生産者、町民の皆さん双方から好評をいただ

いています。

買い物支援は生活支援として大変重要で、町は移動販売・高齢者の見守り支援をセットで、また、地域支援あい支援員や福祉関係機関と連携し、さらにきめ細やかな支援策を講じます。顔の見える・声掛けのある生活支援を目指します。

▼農林業の維持・振興

農業版「日野町がんばる地域プラン」を着実に進め、

農業の共助システムの確立を目指します。農家の負担軽減のためのアグリサポートひの、農畜連携の堆肥散布事業などを進めるほか、遊休・荒廃農地化の防止対策など、関係機関・団体との連携、生産意欲向上対策に取り組みます。

昨年発足の日野町未来づくり事業協同組合、町農林振興公社にも期待していると

青パイヤなどの特産品目の奨励、森林環境譲与税を活用した森林路網整備や木材搬出促進など、循環型林業、森林環境整備に通ずる対策をさらに進めます。

▼地域資源の再発見

年間約1万人が訪れるオシドリ観察小屋は、日野高校グラウンドの一角に、今秋の飛来シーズンまでに町営施設として新築移転します。鶴の池公園キャンプ場、

ハッチョウトンボの棲む滝山公園、都合山たたら跡、金持神社、金持テラスひの、保全地域に指定された星空など、今後も日野町の地域資源の再発見と活用を続けて参ります。

結びに、町民皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、この1年が未来に続く素晴らしい年となりますよう心から願ひまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

2022年 新年のあいさつ